

令和3年(ワ)第30383号 国家賠償請求事件

原告 ゴードン・マーク

被告 国

答 弁 書

令和4年3月18日

東京地方裁判所民事第32部乙合議2C係 御中

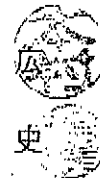
被告指定代理人

〒102-8225 東京都千代田区九段南一丁目1番15号
九段第2合同庁舎

東京法務局訟務部(送達場所は別紙のとおり)

部 付 本 村 行

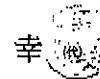
訟 務 官 湯 浅 哲



〒100-8973 東京都千代田区霞が関一丁目1番1号

出入国在留管理庁

法務事務官 清 水 俊



〒108-8255 東京都港区港南五丁目5番30号

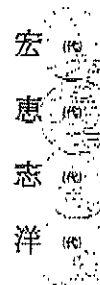
東京出入国在留管理局

入国審査官 横 溝 幸

入国審査官 前 田 弘

入国審査官 小 高 真

入国警備官 野 田 知



入国審査官	藤	永	卓	人
入国審査官	村	次	香	名
入国警備官	久	保	田	裕
入国審査官	長	谷	川	博
入国審査官	佐	藤	志	麻
法務事務官	大	庭	明	香
入国審査官	楠	田	彩	乃

第1 請求の趣旨に対する答弁

- 1 原告の請求を棄却する。
- 2 訴訟費用は原告の負担とする。
- 3 仮執行の宣言は相当でないが、仮に仮執行宣言を付する場合は、
 - (1) 担保を条件とする仮執行免脱宣言
 - (2) その執行開始時期を判決が被告に送達された後14日経過した時とするこ
と
を求める。

第2 請求の原因に対する認否及び被告の主張

追って準備書面により明らかにする。

以 上